

早稲田大学 人間科学学術院 人間科学会 諸費用補助成果報告書 (Web 公開用)

申請者 (ふりがな)	濱本 宗我 (はまもと そうが)
所属・資格 (※学生は課程・学年を記載。卒業生・修了生は卒業・修了年月も記載)	大学院人間科学研究科 修士1年
発表年月 または事業開催年月	2021 年 12 月
発表学会・大会 または事業名・開催場所	日本教育工学会研究会
発表者 (※学会発表の場合のみ記載、共同発表者の氏名も記載すること)	濱本宗我, 森田 裕介
発表題目 (※学会発表の場合のみ記載)	高等教育機関におけるティーチング・アシスタントの汎用的スキルに関する調査
<p>発表の概要と成果 (抄録を公開している URL がある場合、「概要・成果」を記載した上で、URL を末尾に記してください。また、抄録 PDF は別途ご提出ください。なお、抄録 PDF は Web 上には公開されません。)</p> <p>近時、大学などの高等教育機関において、ティーチング・アシスタント (TA) が活用される事例が登場している。TA の活用は、大学にとって利点があることで行われているが、その一方で、TA として雇われる学生にとっても利点がある。この学生側の利点については、これまでの研究では、大学教員になるためのトレーニングという形で解される場合が多かった。他方で、実際には学生の進路は大学教員であるとは限らない。学生の進路という観点で、より幅広い検討が必要であると考えられる。ここで、本研究では、汎用的スキルの観点から、TA 経験者に対してアンケートを実施し、その TA 経験前後の推移について調査を行った。この調査によって、TA 経験は「エンプロイアビリティ」の成長にはあまり寄与していない一方で、「キャリア行動」に関する成長には寄与している可能性が示唆された。</p> <p>抄録 URL https://www.jstage.jst.go.jp/article/jsetstudy/2021/4/2021_JSET2021-4-B12/_article/-char/ja/</p>	

※無断転載禁止